

今月のトピックス

- 1 感染性胃腸炎が流行しており、保育園、小学校や高齢者施設での集団感染の報告もありますので注意が必要です。今シーズンも市内からノロウイルス G .17 型が検出されています。
- 1 咽頭結膜熱、RS ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎などの報告が多くなっています。

全数把握の対象

【12 月期に報告された全数把握疾患】

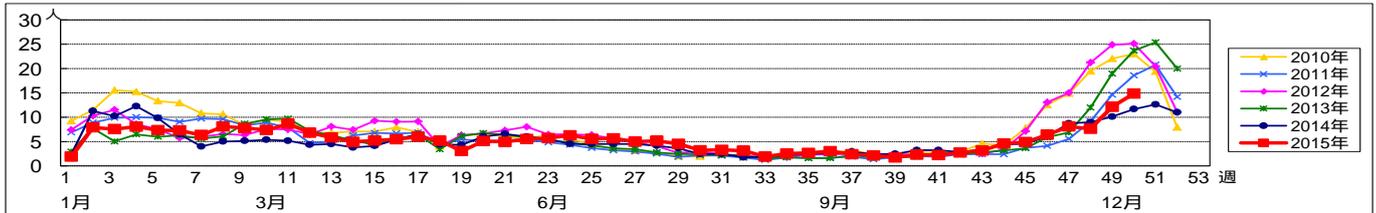
腸管出血性大腸菌感染症	3 件	急性脳炎	3 件
パラチフス	1 件	後天性免疫不全症候群 (HIV 感染症を含む)	1 件
A 型肝炎	1 件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 件
デング熱	1 件	侵襲性肺炎球菌感染症	7 件
レジオネラ症	4 件	梅毒	5 件
アメーバ赤痢	3 件	播種性クリプトコックス症	1 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	4 件		

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: 3 件の報告があり、うち 1 件は同一家族内での感染事例でした。2 次感染予防には手洗いが重要です。さらに、下痢症状がある人は専用のタオルを使うなど、他の人と使うタオルを別にしましょう。トイレは常に清潔に掃除し、ドアノブ・水洗レバー・電気スイッチなど手の触れるところは、特に念入りにきれいにしましょう。
- 2 パラチフス: 1 件の報告があり、海外(インドネシアまたはフィリピン)での経口感染が推定されています。
- 3 A 型肝炎: 1 件の報告があり、海外(フィリピン(セブ島))での経口感染が推定されています。
- 4 デング熱: 1 件の報告があり、海外(スリランカ(コロンボ))での感染が推定されています。
- 5 レジオネラ症: 肺炎型 4 件の報告がありましたが、明確な感染経路等は不明でした。
- 6 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症 3 件の報告があり、1 件は国内での同性間性的接触による感染、もう 1 件は国内での異性間性的接触(性交及び経口)による感染、残るもう 1 件は東南アジアでの経口感染でした。
- 7 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 4 件の報告がありました。
- 8 急性脳炎: 3 件の報告がありました。1 件は 70 歳代で、検査キットにてインフルエンザ A 型が検出されています。他の 2 件(新生児及び幼児)は病原体不明です。
- 10 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む): 無症状病原体保有者 1 件(国内での同性間及び異性間性的接触による感染)の報告がありました。
- 11 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 1 件の 60 歳代の報告がありました。
- 12 侵襲性肺炎球菌感染症: 幼児 1 件、成人 6 件の報告がありました。幼児例では予防接種歴が 4 回(7 価)ありましたが、成人例では予防接種歴が確認できませんでした。
- 13 梅毒: 5 件の報告(早期顕症梅毒 期 1 件、早期顕症梅毒 期 1 件、無症候期 3 件)があり、すべて国内感染例でした。感染経路では、異性間性的接触 4 件、同性間性的接触 1 件でした。
- 14 播種性クリプトコックス症: 1 件の報告があり、感染原因として慢性腎不全による免疫不全が推定されています。

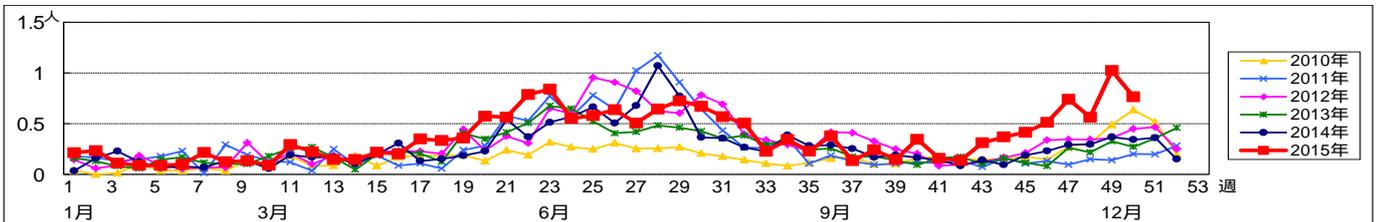
定点把握の対象

平成 27 年 週 - 月日対照表	
第 48 週	11 月 23 日 ~ 29 日
第 49 週	11 月 30 日 ~ 12 月 6 日
第 50 週	12 月 7 日 ~ 13 日

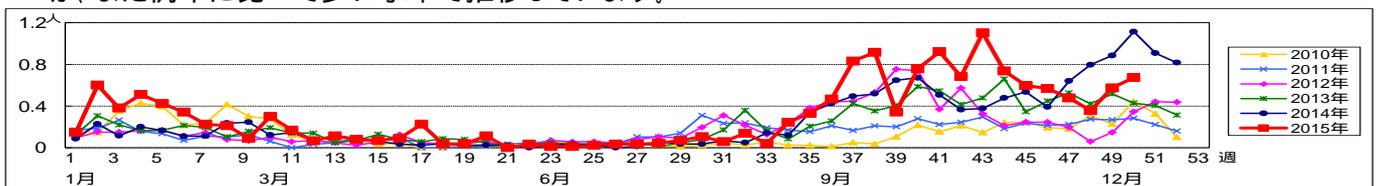
- 1 **感染性胃腸炎**: 第 50 週は市全体で定点あたり 14.85 と増加傾向です。区別では都筑区 35.50、鶴見区 22.14、中区 20.50 で警報発令基準値(定点あたり 20.00)を上回っており注意が必要です。今シーズンは、これまでノロウイルスの主流のタイプであった G .4 にかわり、G .17 のノロウイルスの流行が危惧されていることから、[厚生労働省](#)が注意喚起しています。市内でも、昨シーズンは 2015 年 1 月頃から、これまで多く検出されていた G .4 にかわり、G .17 が検出されるようになりました。今シーズンもまだ全体の報告数は少ないものの、G .17 が検出されています。G .17 はノロウイルス迅速診断検査キットでの検出感度が低いことが報告されており、注意が必要です。参考:[感染症臨時情報「感染性胃腸炎」\(横浜市感染症情報センター\)](#)



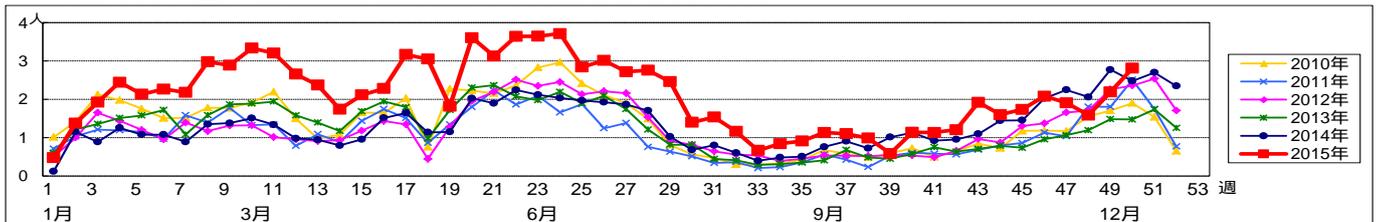
- 2 **咽頭結膜熱**: 第 50 週は市全体で定点あたり 0.76 と、この時期では 2010 年以降最も報告が多くなっています。



- 3 **RS ウイルス感染症**: 第 50 週は市全体で定点あたり 0.67 と、今年最も多かった第 43 週 1.10 より減少しましたが、まだ例年に比べて多い水準で推移しています。



- 4 **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 第 50 週は市全体で定点あたり 2.81 と増加傾向です。区別では磯子区 9.00 で警報発令基準値 8.00 を上回っており、注意が必要です。



- 5 **インフルエンザ**: 第 50 週は市全体で定点あたり 0.17 と落ち着いています。ただ、学級閉鎖も報告されており、早めの予防接種が重要です。

- 6 **性感染症**: 11 月は、性器クラミジア感染症は男性が 24 件、女性が 10 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 4 件、女性が 11 件です。尖圭コンジローマは男性 6 件、女性が 2 件でした。淋菌感染症は男性が 17 件、女性が 1 件でした。

- 7 **基幹定点週報**: マイコプラズマ肺炎は第 48 週 2.00、第 49 週 2.00、第 50 週 0.00 と報告されています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)が第 48 週 0.00、第 49 週 0.33、第 50 週 1.00 と、この冬シーズンでは第 45 週にはじめて報告されて以来、報告が寄せられています。細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。

- 8 **基幹定点月報**: 11 月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 5 件の報告がありました。ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>